

がん検診が始まります

子宮・乳がん検診 6月2・3・16～18日

がんを防ごう

働き盛りを襲うがん

男性は胃・女性は乳房が第1位

働き盛りの人々を襲うがんはなにか。厚生労働省が発表した「平成13年人口動態確定数」から働き盛りの25～64歳までのデータを参考に拾い出し、日本対がん協会が発表したものが表1です。

表を見ると、働き盛りの男性を襲うがんは、胃がんが第1位です。2位は気管・気管支及び肺（肺がん）で、3位は肝（肝臓）及び肝内胆管でした。

一方、女性では、乳がんが第1位です。2位は胃がんで、3位は子宮がんと大腸がんでした。

また、千葉県での早世（早死に）の原因として一番多いがんについて男女で比較したものが表2です。

男性では、胃がん・肺がん・大腸がんの3疾患が大部分を占め、女性では、乳がんが死亡件数と早世係数のいずれも多く、子宮がん・

卵巣がんも早世係数が高い状況にあります。

乳がん検診に超音波検査

町では、今年度より30～49歳までの方を対象に、乳がん検診で超音波検査を行います。（50歳以上の方はマンモグラフィ導入済み）また、胃・大腸がんについては土曜日にも実施しますので、まだ受けたことのない方、また昨年受けた方は健康の確認のためにも是非受診してください。

実施の通知について

登録されている方、昨年町での検診を受けた方、また胃がん検診については40～49歳の方で未受診理由の届けがない方に、問診票を郵送します。

表-1

働き盛りのがん死亡率順位

（平成13年人口動態確定数から）

男性						女性					
年齢層	1位	2位	3位	4位	5位	年齢層	1位	2位	3位	4位	5位
25～29歳	白血病	胃	大腸	肝及び肝内胆管	気管・気管支及び肺	25～29歳	白血病	胃	子宮	乳房	大腸
30～34歳	胃	白血病	大腸	気管・気管支及び肺	肝及び肝内胆管	30～34歳	乳房	胃	子宮	大腸	白血病
35～39歳	胃	気管・気管支及び肺	大腸	白血病	肝及び肝内胆管	35～39歳	乳房	胃	子宮	大腸	気管・気管支及び肺
40～44歳	胃	気管・気管支及び肺	肝及び肝内胆管	大腸	白血病	40～44歳	乳房	胃	大腸	子宮	気管・気管支及び肺
45～49歳	胃	気管・気管支及び肺	肝及び肝内胆管	大腸	膵	45～49歳	乳房	胃	大腸	子宮	気管・気管支及び肺
50～54歳	胃	気管・気管支及び肺	肝及び肝内胆管	大腸	食道	50～54歳	乳房	胃	大腸	気管・気管支及び肺	子宮
55～59歳	胃	気管・気管支及び肺	肝及び肝内胆管	大腸	食道	55～59歳	乳房	胃	大腸	気管・気管支及び肺	子宮
60～64歳	胃	気管・気管支及び肺	肝及び肝内胆管	大腸	食道	60～64歳	大腸	乳房	胃	気管・気管支及び肺	肝及び肝内胆管